



令和7年度第2回 「しが web アンケートプラス調査」

(子ども向け調査) の結果について

1 調査の目的

滋賀県内にお住まいの方を対象として、滋賀県に対するイメージ・意識・認知度等についてインターネットを活用して適時迅速に調査し、速やかに県の施策に活用するための基礎資料とする。

2 調査の概要

- 調査対象 県内在住の小中高生
- 標本数 200人
- 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答する web 調査
- 調査期間 令和7年7月24日(木)～7月30日(水)
- 調査会社 株式会社ブランド総合研究所

3 調査項目

滋賀県での環境学習について

4 主な調査結果 ※詳細は別添資料を参照ください。

- Q1：自然や生き物が「好き」と「どちらかというとき好き」の合計がおよそ6割(60.5%)。
Q2：自然や生き物が「好き」や「どちらかというとき好き」になったキッカケでもっとも多かったのは「水族館・動物園・博物館」(48.8%)。
Q3：Q2のキッカケの体験率は週に1回以上がおよそ3割(33.9%)。
Q4：自然や生き物について、「教えてくれる人や場所がある」は1割に満たない(9.0%)。
Q5：環境学習と聞いて、イメージするものは「動物や植物など、生き物について学ぶ」(46.0%)や

「地球温暖化など、気候変動について学ぶ」(45.5%)が多かった。

Q6:環境について学ぶ環境学習が「好き」と「どちらかというが好き」の合計がおよそ半数(52.5%)。

Q7:この1年間で環境学習に関する体験を「どれもしていない」は22.5%であり、およそ8割はこの1年間で環境学習に関するなんらかの体験をしていた。

Q8:体験してみたいと思うものが「どれもない」は19.0%であり、およそ8割は環境学習に関するなんらかの体験をしてみたいと答えている。

Q9:この1年間で環境学習を「受けていない」は17.0%であり、およそ8割はこの1年間で環境学習を受けていた。

Q10:環境を守ることで幸せだと感じる事柄は、「たくさんの生き物が暮らしている」(43.0%)、「公園など、屋外で安心して遊ぶことができる」(42.0%)、「琵琶湖や川の水が美しい」(43.5%)が多かった。

Q11:およそ6割の子どもから、「人々の幸せにつながる環境学習」に対する回答をいただいた。